

社会福祉法人三島市社会福祉協議会

令和4年度事業報告書

わが国では、少子・高齢化が進む中、今後も確実に人口の減少が見込まれ、生産年齢人口も継続的に減少することから、従来の制度のままでは多くの問題が生じることが予測されます。また、社会情勢の変化とともに、核家族の増加や近隣住民同士の関係の希薄化、地域社会への関心の低下など、住民意識も大きく変化しており、地域で支え合う機能が弱まる中で生活課題や福祉ニーズは増大し、その内容は複雑化・多様化しています。

国では、このような社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現に向け、施策の検討・実施が進められています。

三島市社会福祉協議会では、第4次三島市地域福祉活動計画に掲げた様々な取り組みを着実に実施するとともに、社協活動に対する市民の理解を深め、より多くの皆さまにご協力して頂けるように分かりやすい情報発信に努め、「地域福祉の推進を図ることを目的」と位置付けられた社会福祉協議会の「公共性」と、民間組織としての「自主性」という2つの側面を併せ持つ組織力を活かし、地域住民やボランティア、福祉・保健などの関係者、行政機関などとの連携により、「市民の誰もが安心して、自分らしく、いきいきと、自立した生活ができる地域社会の実現」を目指し、さまざまな取り組みを行ってまいりました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を継続する中、各種事業・活動が自粛や縮小となることもありましたが、いかに地域福祉を留めずに推進していくかを考えながら、各種事業に取り組んでまいりました。

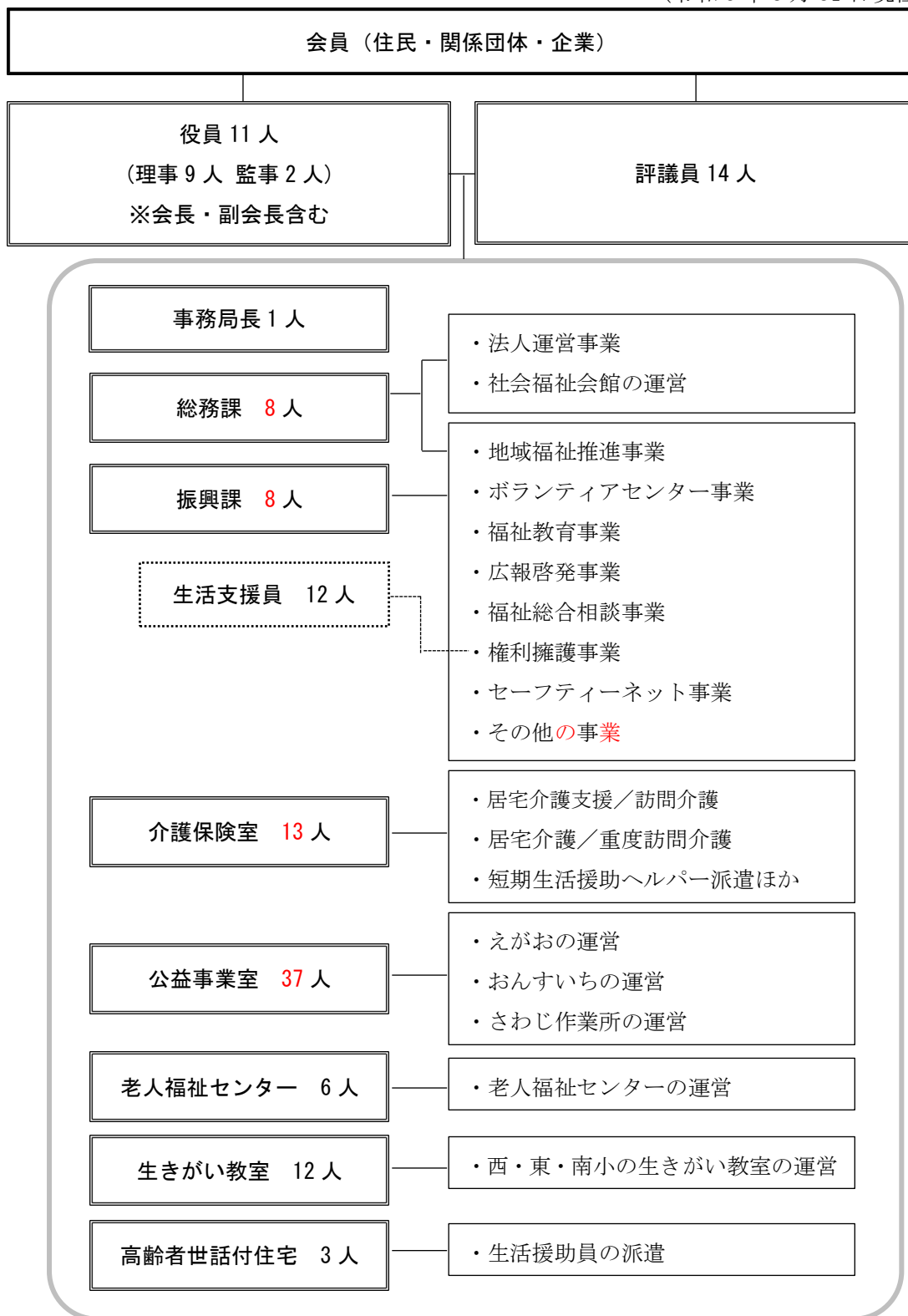
以下、各事業の推進状況等について報告いたします。

I 重点項目

1	地域福祉活動計画の推進
2	福祉に関する意識の醸成
3	地域の担い手づくりとネットワーク
4	分野を横断した相談支援体制づくり
5	権利擁護体制の構築

II 組織構成と事業体型図

(令和5年3月31日現在)



Ⅲ 実施事業報告

1 法人運営事業

(1) 組織運営のための会議等の開催

本会の定款に基づき、法人運営に必要な「理事会」、「評議員会」、「監事監査」を開催しました。

①理事会の開催状況

開催日	議題等
令和4年 6月13日(月)	<ul style="list-style-type: none">・令和3年度三島市社会福祉協議会事業報告(案)について・令和3年度三島市社会福祉協議会資金収支決算認定について・令和4年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について・三島市社会福祉協議会定時評議員会に提出する理事候補者の選定について・三島市社会福祉協議会評議員選定委員会に提案する選任候補者の推薦及び評議員選定委員会の開催について・定時評議員会の招集について
令和4年 9月13日(火)	<ul style="list-style-type: none">・会長及び常務理事の職務執行状況の報告・令和4年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について・令和4年度三島市社会福祉協議会社会福祉大会における三島市社会福祉協議会会長表彰について・評議員会の招集について
令和4年 12月9日(金)	<ul style="list-style-type: none">・社会福祉法人三島市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程(案)について・社会福祉法人三島市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程(案)について・社会福祉法人三島市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程(案)について・社会福祉法人三島市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部を改正する規程(案)について・社会福祉法人三島市社会福祉協議会職員の退職手当に関する規程の一部を改正する規程(案)について・三島市社会福祉協議会評議員選定委員会に提案する選任候補者の推薦及び評議員選定委員会の開催について・三島市老人福祉センターの管理に関する仮協定書の締結について

<p>令和 5 年 3 月 15 日 (水)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長及び常務理事の職務執行状況の報告 ・ 社会福祉法人三島市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部を改正する規程(案)について ・ 社会福祉法人三島市社会福祉協議会社会福祉振興基金規程の一部を改正する規程(案)について ・ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく居宅介護事業所運営規程(居宅介護及び重度訪問介護)の一部を改正する規程(案)について ・ 社会福祉法人三島市社会福祉協議会指定生活介護事業所おんすいち運営規程の一部を改正する規程(案)について ・ 社会福祉法人三島市社会福祉協議会指定就労継続支援(B型)事業所さわじ作業所運営規程の一部を改正する規程(案)について ・ 社会福祉法人三島市社会福祉協議会指定生活介護事業所えがお運営規程の一部を改正する規程(案)について ・ 令和 4 年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・ 令和 5 年度三島市社会福祉協議会事業計画(案)について ・ 令和 5 年度三島市社会福祉協議会資金収支予算(案)について ・ 事務局職員の人事(案)について ・ 三島市老人福祉センター館長の人事(案)について ・ 三島市社会福祉協議会評議員会に提出する理事候補者の選定(案)について ・ 評議員会の招集(案)について
<p>令和 5 年 3 月 27 日 (月) (書面による議決)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人三島市社会福祉協議会常務理事の選定について

②評議員会の開催状況

開催日	議題等
<p>令和 4 年 6 月 28 日 (火)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 3 年度三島市社会福祉協議会事業報告(案)について ・ 令和 3 年度三島市社会福祉協議会資金収支決算認定について ・ 令和 4 年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・ 三島市社会福祉協議会理事の選任について
<p>令和 4 年 9 月 27 日 (火)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長及び常務理事の職務執行状況の報告 ・ 令和 4 年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について

令和5年 3月27日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・会長及び常務理事の職務執行状況の報告 ・令和4年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・令和5年度三島市社会福祉協議会事業計画(案)について ・令和5年度三島市社会福祉協議会資金収支予算(案)について ・三島市社会福祉協議会理事の選任(案)について
------------------	---

③監事監査の開催状況

開催日	議題等
令和4年 5月27日(金)	令和3年度事業及び決算の監査
令和4年 11月15日(火)	令和4年度中間監査

④その他会議の開催状況

開催日	会議名・議題
令和4年 6月21日(火)	評議員選定委員会 ・三島市社会福祉協議会評議員の選任について
令和4年 9月2日(金)	正・副会長会 ・令和4年度三島市社会福祉協議会社会福祉大会における三島市社会福祉協議会会長表彰の被表彰者の選考について
令和4年 12月14日(水)	評議員選定委員会 ・三島市社会福祉協議会評議員の選任について

(2) 会費の状況

区分	当年度		前年度	
	件数	金額	件数	金額
住民会費 (1世帯200円)	39,939件	7,005,240円	39,895件	6,960,340円
団体会費 (1口1,000円以上)	47件	111,000円	48件	117,000円
賛助会費 (1口1,000円以上)	195件	378,000円	184件	353,000円
合計	40,181件	7,494,240円	40,127件	7,430,340円

(3) 寄附金の状況

区 分		当年度		前年度	
		件数	金額	件数	金額
一 般 寄 附 金	法人運営拠点区分	14 件	631,331 円	16 件	2,348,340 円
	えがお拠点区分	5 件	101,000 円	7 件	127,791 円
	さわじ作業所拠点区分	5 件	51,000 円	6 件	125,050 円
	おんすいち拠点区分	6 件	68,962 円	2 件	12,000 円
合 計		30 件	852,293 円	31 件	2,613,181 円

(4) 社会福祉振興基金及び社会福祉整備積立金等の状況

退職給与積立金は4名の退職に伴い5,280,000円を取り崩し、年度末必要額まで10,813,020円を積み立て97,342,580円となり、積立金等累計額は818,381,012円となりました。

基金等種類	前年度末積立金	本年度積立金(上段)	積立金累計額
		本年度取崩額(下段)	
社会福祉 振興基金	542,843,383 円	0 円	542,843,383 円
		0 円	
社会福祉 整備積立金	136,196,713 円	0 円	136,196,713 円
		0 円	
退職給与 積立金	91,809,560 円	10,813,020 円	97,342,580 円
		5,280,000 円	
資金運用 積立金	40,148,336 円	0 円	40,148,336 円
		0 円	
施設整備 積立金	500,000 円	0 円	500,000 円
		0 円	
車両購入等 積立金	1,350,000 円	0 円	1,350,000 円
		0 円	
合 計	812,847,992 円	10,813,020 円	818,381,012 円
		5,280,000 円	

2 地域福祉推進事業

(1) 地域福祉活動計画の周知

「地域福祉活動計画」とは、市町行政が策定した「地域福祉計画」と連携し、住民及び福祉関係団体や事業者などが地域福祉の推進に主体的にかかわるために、市町社協が中心となって策定する具体的な活動計画です。三島市社協では、前計画の策定から5年が経過し、福祉を取り巻く環境が大きく変化する中、時代の要請に応じた地域福祉の取組を進めるために、これまでに取り組んできた内容を見直し、令和3年4月から令和8年3月までの5ヶ年を計画期間とする「第4次三島市地域福祉活動計画」を令和3年3月に策定しました。

昨年度に引き続き、本計画の周知・啓発を図るため、福祉関係団体を対象とした会議や地域住民を対象とした講座等において内容を説明・紹介するほか、誰もが閲覧できるように本会ホームページからダウンロードできるようにしました。

(2) 小地域福祉活動リーダー・福祉の担い手等の養成

住民主体の地域福祉活動を進めていくため、福祉の担い手養成に取り組みました。

① ノルディックウォークでいきいきボランティア講座

開催場所：中郷文化プラザ

開催日	内 容	参加者
令和4年9月15日(木)	健康の三要素、ノルディックウォークの基礎	12名
令和4年9月29日(木)	ボランティア活動、ノルディックウォークの実技	

② ノルディックウォークを通じたボランティア活動

上記講座修了者で構成されるボランティアグループ「おたすけアルク」の声掛け・見守り活動を支援しました。

日付
令和4年4月6日(水)
令和4年5月11日(水)
令和4年6月1日(水)
令和4年7月6日(水)
令和4年9月7日(水)
令和4年10月12日(水)
令和4年11月2日(水)
令和4年12月7日(水)
令和5年1月11日(水)
令和5年2月1日(水)
令和5年3月1日(水)



(3) 生活支援コーディネーター業務

日常生活において、支援を必要とする高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続できるよう、第2層生活支援コーディネーターとして高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備に取り組みました。

①三島市及び第1層生活支援コーディネーターとの打合せ会

日付	
令和4年4月7日(木)	令和4年10月6日(木)
令和4年5月10日(火)	令和4年11月10日(木)
令和4年6月7日(火)	令和4年12月9日(金)
令和4年7月7日(木)	令和5年1月6日(金)
令和4年8月10日(水)	令和5年2月8日(水)
令和4年9月9日(金)	令和5年3月10日(金)

②各関係会議参加による地域の福祉課題と社会資源の把握

ア. 介護予防・生活支援体制整備推進協議会に参加

日付	
令和4年6月28日(火)	令和5年3月7日(火)

イ. 自立支援サポート会議に参加

日付	
令和4年4月19日(火)	令和4年10月19日(水)
令和4年5月23日(月)	令和4年11月18日(金)
令和4年6月22日(水)	令和4年12月21日(水)
令和4年7月21日(木)	令和5年1月18日(水)
令和4年8月18日(木)	令和5年2月15日(水)
令和4年9月21日(水)	令和5年3月13日(月)

(4) 居場所・サロンの支援

地域における互助の振興を目的に、住民主体による居場所・サロン活動の立ち上げ・運営継続のための支援に取り組みました。

①居場所・サロン等の登録状況

ア. 居場所・サロン

No.	名称	地区	
1	井戸端会議	北上	光ヶ丘
2	木曜サロン	北上	徳倉

3	歩歩笑サロン	北上	光ヶ丘
4	ほっとカフェ	北上	富士ビレッジ
5	介護予防カトレア体操	北上	芙蓉台
6	芙蓉台自治会居場所	北上	芙蓉台
7	たまりば・一休	北上	富士ビレッジ
8	コミュニティースペース・ジモット	北上	徳倉
9	居場所 101	北上	光ヶ丘
10	沢地遊和会	北上	沢地
11	富士見台サロン	北上	富士見台
12	ちよっくらカフェ	旧市内	西本町
13	シャルマンカフェ	旧市内	加茂川町
14	サロン大宮	旧市内	大宮町
15	さくらサロン	旧市内	加茂
16	南二日町サロン	旧市内	南二日町
17	コミュニティカフェ悠遊	旧市内	若松町
18	ひなたぼっこの会	旧市内	大社町
19	にこにこ会	旧市内	南田町
20	加茂喜楽会	旧市内	加茂
21	居場所太陽	旧市内	栄町
22	交流喫茶なみき	錦田	並木
23	Welcome サロン三恵台	錦田	三恵台
24	すずめ会	錦田	谷田
25	旭ヶ丘なかよし体操	錦田	旭ヶ丘
26	旭ヶ丘カフェ	錦田	
27	初音台夏すみれ	錦田	初音台
28	玉沢健康体操“弥生”	錦田	玉沢
29	錦田元気体操「喜楽会」	錦田	谷田
30	すこやかサロン	錦田	小山押切
31	ひだまりの会	錦田	中
32	中・福社会健幸サロン	錦田	中
33	さんすい	錦田	城の内
34	夏梅木コミュニティカフェ	錦田	夏梅木
35	コミュニティカフェ安久	中郷	安久
36	シェアカフェ・クリチバ	中郷	藤代町
37	東大場図書カフェ	中郷	東大場
38	山のサロン	中郷	パサディナ

39	新谷コミュニティカフェ “花笑み”	中郷	新谷
40	サロン松本	中郷	松本
41	多呂サロン	中郷	多呂
42	ラジヨガ7	旧市内・北上・中郷	南本町・光ヶ丘・バサディナ

イ. 認知症カフェ

No.	名称	地区	
1	オレンジほっとカフェきたうえ	北上	萩
2	おれんじほっとサロン	旧市内	中央町
3	すまいるカフェ◎錦田	錦田	谷田藤久保
4	ふらっとうめな	中郷	梅名
5	和カフェしゃぎり庵	旧市内	芝本町

ウ. 地域（子ども）食堂・学習支援

No.	名称	地区	
1	三島子育て学習サポート寺子屋	錦田	谷田
2	なとり塾	旧市内	西本町
3	みんなのえがおおたまちゃん食堂	旧市内・錦田	中央町・谷田

②居場所・サロン連絡会

居場所・サロンの連携、情報交換、共有等を図るため連絡会を開催しました。

日付	内容	参加者
令和4年 9月26日（月）	居場所の機能追加について 機能追加に取り組む居場所の事例発表	22名 (22団体)
令和5年 3月24日（金）	各居場所の現状について情報交換 みしまるっと体操、電動カート等の紹介	26名 (24団体)



③ポッチャ用具の貸出

ポッチャの体験を通して福祉への理解・関心を深めるきっかけや、地域交流の新たなツールとなるよう、居場所等の団体へ用具を貸し出しました。貸出件数：29件

④身近な地域の居場所づくり助成事業

居場所の開設・運営に必要な経費を年間開所日数に応じて助成。また、世代間交流を行う団体に対して助成金を1万円加算するほか、声掛け・訪問、学習支援、スマートフォン操作支援など新たな機能追加に取り組む団体に対してさらに助成金を加算し活動を支援しました。

名称	開所日数	世代間交流	機能強化①	機能強化②	助成額
さくらサロン	43	-	○	-	40,000円
サロン大宮	12	○	○	○	50,000円
三島子育て学習サポート寺子屋	40	○	○	-	50,000円
ひなたぼっこの会	24	-	○	-	40,000円
初音台夏すみれ	36	-	-	-	20,000円
歩歩笑サロン	10	○	○	-	40,000円
富士見台サロン	11	-	-	-	10,000円
加茂喜楽会	11	-	○	-	30,000円
中福社会 ひだまりの会	12	-	○	-	30,000円
旭ヶ丘カフェ	90	-	-	-	30,000円
芙蓉台自治会による「居場所」	12	○	○	-	40,000円
シャルマンカフェ	24	-	○	-	30,000円
なとり塾	60	○	○	-	50,000円
木曜サロン	50	○	○	○	60,000円
ちょっくらカフェ	48	-	-	-	30,000円
たまりば・一休	45	○	○	○	60,000円
中福社会健幸サロン	57	-	-	-	30,000円
居場所 101	48	○		-	40,000円
合計 18 団体					680,000円



▲歩歩笑サロン



▲三島子育て学習サポート寺子屋

(5) 地域支え合い会議（勉強会）の開催

地域住民と共に、地域の困りごとや課題を共有し、解決に向けた取り組みを考えていくため、標記勉強会を市内5地区で開催しました。

地区	日付	場所	参加者
三島南	令和4年7月15日（金）	三島市社会福祉会館	7名
	令和5年1月26日（木）	三島市社会福祉会館	3名
	令和5年3月7日（火）	三島市社会福祉会館	8名
三島北	令和4年7月14日（木）	三島市社会福祉会館	10名
	令和4年1月27日（金）	三島市社会福祉会館	7名
	令和5年3月8日（水）	三島市社会福祉会館	7名
北上	令和4年8月2日（火）	北上文化プラザ	9名
	令和4年11月29日（火）	北上文化プラザ	11名
	令和5年3月16日（木）	北上文化プラザ	10名
錦田	令和4年7月25日（月）	錦田公民館	19名
	令和4年11月30日（水）	錦田公民館	13名
	令和5年3月3日（金）	錦田公民館	13名
中郷	令和4年8月4日（木）	中郷文化プラザ	4名
	令和5年1月18日（水）	中郷文化プラザ	9名
	令和5年3月14日（火）	中郷文化プラザ	8名



(6) 法人間連携推進会の開催

福祉課題等に対応した地域の福祉サービスの一層の充実が図られるよう、複数法人が参画するネットワークを構築し、当該参画法人が持つそれぞれの強みを活かすことを通じて、福祉課題等の解決に向けた協働による取組を推進する会議を開催しました。また、各法人が所有する資源および福祉人材確保に向けた法人間連携パンフレット作成しました。

※高齢者福祉サービス事業を13法人が参加

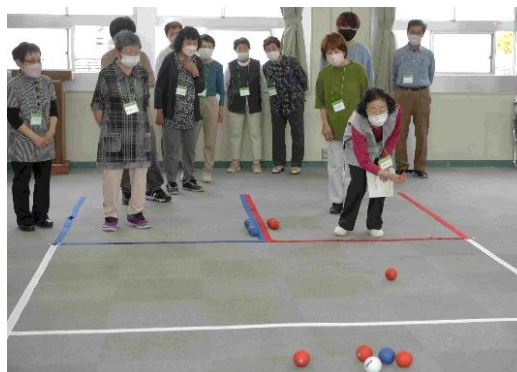
開催日	
令和4年12月19日(月)	令和5年3月10日(金)



(7) わいわいボッチャ居場所

いつ来ても良い、いつ帰っても良い、誰が来ても良い「ボッチャを通して気軽に交流できる場所」として、三島市社会福祉会館を会場に「わいわいボッチャ居場所」を実施しました。

実施日	利用者
令和4年5月12日(木)	10名
令和4年5月26日(木)	19名
令和4年6月9日(木)	27名
令和4年6月23日(木)	18名
令和4年7月14日(木)	25名
令和4年7月28日(木)	19名
令和4年8月4日(木)	16名
令和4年8月25日(木)	27名
令和4年9月13日(火)	17名
令和4年9月27日(火)	18名
令和4年10月11日(火)	19名
令和4年10月25日(火)	21名
令和4年11月15日(火)	17名
令和4年11月22日(火)	18名
令和4年12月8日(木)	13名
令和4年12月22日(木)	21名
令和5年1月11日(水)	8名
令和5年1月26日(木)	20名
令和5年2月9日(木)	17名
令和5年2月21日(火)	12名
令和5年3月9日(木)	12名
令和5年3月23日(木)	8名



(8) その他、地域福祉推進に向けた取り組み

①地域ケア会議等への参加

開催日	主催	会議テーマ
令和4年 5月19日(木)	中郷地区地域包括 支援センター	高齢者の年金をあてに、職に就けない 家族への支援
令和4年 5月26日(木)	中郷地区地域包括 支援センター	地域での暮らしを希望する認知症高齢 者と家族に対する支援のあり方

令和4年 7月7日(木)	中郷地区地域包括 支援センター	複合的な課題を抱えた高齢者と息子の 世帯支援
令和4年 7月13日(水)	中郷地区地域包括 支援センター	免許返納をしない高齢者に対して地域 でどう支援するかを考える
令和4年 8月30日(火)	中郷地区地域包括 支援センター	独居高齢者を地域で連携して支援し、介護 サービス利用や後見人に繋がった事例
令和4年 11月22日(火)	中郷地区地域包括 支援センター	8050問題
令和5年 2月21日(火)	中郷地区地域包括 支援センター	生活保護受給者で金銭管理のできない 方の支援
令和5年 2月21日(火)	北上地区地域包括 支援センター	医療リスクが高い中、同居する娘への 支援が必要と思われる男性への支援

②講師派遣

地域福祉の振興・向上に資するため本会職員を講師として派遣しました。

開催日	対象	内容
令和4年 4月14日(木)	錦田地区民生委員児童委 員、主任児童委員	社会福祉協議会の取り組みと地 域支えあい会議について

3 ボランティアセンター事業

(1) ボランティア登録

効果的な情報発信とボランティアコーディネート等に活用するため、ボランティア登録の受付を行いました。

(令和5年3月31日現在)

内 訳		登録数
グループ	高齢者に関わる活動	19件
	障害者等に関わる活動	10件
	児童・子育てに関わる活動	18件
	災害時に関わる活動	8件
	環境に関わる活動	18件
	趣味・特技・資格等を活かした活動	11件
	その他の活動	17件
	計	101件
個人	傾聴、読み聞かせ、マジック、被災地支援ほか	142名

(2) ボランティアコーディネート

ボランティアに関する様々な相談に応じるほか、ボランティア登録の受付、活動先の斡旋・調整などを行いました。

主なコーディネート内容
・ 市内視覚障がい者を対象とした広報みしま等の点訳・音訳 ・ 選挙開票時の点字判読者派遣 ・ 福祉施設等イベント時のボランティア募集・派遣 ・ ボランティア活動希望者への活動先斡旋 ・ 社会貢献活動に取り組む企業の発掘・支援 ・ 福祉関係団体が行う活動の周知・協力・呼びかけ ほか

(3) ボランティア入門講座 点訳編の開催

ボランティア活動に興味・関心がある方や活動を始めたいと考えている方を対象に、活動のきっかけづくりを目的とした「ボランティア入門講座」を開催しました。

また、点訳ボランティアの活動に焦点をあて、市民に障がい者への理解を深めて頂く機会としました。現在活動をしている点字サークルすぎなの会と共に開催し、実際のボランティア活動に結びつくように実施しました。

開催日	場 所	参加者
令和4年9月20日(火)	三島市社会福祉会館	7名

(4) 三島市ボランティア連絡協議会の事務局運営

ボランティア活動の推進や会員相互の交流・連携を深めることに賛同したグループと個人会員から構成される164名の組織の事務局を担い、他市町で活動するボランティアとの交流、フードドライブの活動等の手伝いを行いました。新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて令和4年度総会は役員総会としましたが、新年会は39名が参加し会員同士で交流することができました。研修については静岡ボランティア研究集会に28名の会員が参加し、実行委員として分科会の運営にも携わりましたが、そのほか、年間の活動費として助成金150,000円を交付しました。

(5) 将棋ボランティア「一七の会」の事務局運営

地域で生活している高齢者等と将棋や囲碁の対戦相手をするボランティアとして平成27年11月17日に立ち上げ、以降、当会で事務局を担い活動調整を行っています。過去2年間、新型コロナウイルス感染防止のため、活動を自粛していましたが、令和4年4月より徐々に活動を再開しました。

派遣先	内 容	派遣実績
市内高齢者宅	囲碁のお相手	39回

(6) 折り紙ボランティア「おりひめ」の事務局運営

令和元年11月1日に折り紙を通じたボランティア活動グループとして発足し、月1回メンバーで集まり、折り紙をしながら楽しく交流を行い、その活動内容の検討や日程調整を行っています。また、「おりひめ隊」として、居場所やサロン等へ出向き、折り紙を通して地域住民と交流を図るなど、地域福祉の担い手として活動をするためのコーディネート等を行っています。

【おりひめ定期活動日】

活動日	内容	場所	参加者
令和4年4月15日(金)	兜	三島市社会福祉会館	17名
令和4年5月13日(金)	紫陽花	三島市社会福祉会館	21名
令和4年6月24日(金)	バラ	三島市社会福祉会館	29名
令和4年7月15日(金)	くす玉、風鈴	三島市社会福祉会館	18名
令和4年8月19日(金)	箱	三島市社会福祉会館	19名
令和4年9月16日(金)	花こま	三島市社会福祉会館	25名
令和4年10月21日(金)	ぽち袋	三島市社会福祉会館	27名
令和4年11月18日(金)	門松①	三島市社会福祉会館	23名
令和4年12月16日(金)	門松②	三島市社会福祉会館	19名
令和5年1月20日(金)	風船うさぎ、お皿	三島市社会福祉会館	21名
令和5年2月17日(金)	八角形のボックス	三島市社会福祉会館	27名
令和5年3月17日(金)	リボン・紙袋	三島市社会福祉会館	24名

【おりひめ隊の派遣】

活動日	内容	派遣先	派遣人数
令和4年4月5日(火)	起き上がりこぼし	老人福祉センター	7名
令和4年4月12日(火)	起き上がりこぼし	老人福祉センター	6名
令和4年4月13日(水)	起き上がりこぼし	老人福祉センター	8名
令和4年4月27日(水)	起き上がりこぼし	老人福祉センター	6名
令和4年9月21日(水)	花こま	居場所101	4名
令和4年12月13日(火)	起き上がりこぼし	三島市立北上小学校	7名
令和5年3月30日(木)	起き上がりこぼし・紙鉄砲	芙蓉台居場所	2名



(7) シニアのためのスマホ・サロンの開催

ボランティアグループの公益的な活動の支援及び高齢者の暮らしを支える仕組みづくりの一環として、「みしま社協 シニアのためのスマホ・サロン」を開催しました。高齢者からニーズのあるスマホに関する課題を解決する機会を設け、また、サロンとして講座を行うことで参加者同士が交流できる場を提供し、仲間づくりへとつなげる支援を行いました。

開催日	内 容	講 師	参加者
令和5年 1月30日(月)	スマホの基本操作、アプリの導入、電話、音声検索、LINEの導入と安全な設定など	ネットで eシニア	24名
令和5年 2月27日(月)	スマホの安全な使い方、LINEで友だちやグループの作り方	ネットで eシニア	22名
令和5年 3月27日(月)	便利なアプリの紹介①(写真、アルバム、写真の共有、Googleレンズなど)	ネットで eシニア	20名



(8) ボランティア活動保険等窓口業務の実施

ボランティア活動中の事故によるケガや賠償責任を保障する保険の加入手続き等に関する窓口業務を行いました。

保険種類	内 容	加入数	保険料総額
ボランティア活動保険	ボランティア活動中の事故によるケガや賠償責任を補償	964名	376,700円
ボランティア行事用保険	地域福祉活動等の行事における主催者や参加者のケガ等を補償	197行事	141,624円
福祉サービス総合補償	在宅・地域福祉サービス中の活動従事者のケガや団体・グループの賠償責任を補償	5団体	160,000円
送迎サービス補償	移送・送迎サービス中の交通事故などによる利用者のケガを補償	1団体	4,320円

※上記加入者への事故対応2件

(9) ボランティアグループ等事業費補助

住民主体による福祉活動の支援及び地域福祉向上に資する為、ボランティアグループが実施する公益的な活動や児童青少年健全育成に取り組む団体が実施する事業について、経費の一部を補助しました。

① ボランティアグループ事業費補助

グループ名	事業名	補助額
人知笑ねっとワーキングの会	居場所慰問支援伴奏楽団のハーモニカ等備品整備、回想セラピー効果向上	74,000 円
ハートフルケアとまり木	バリデーション講演会	80,000 円
介護予防カトレア体操	介護予防運動実施のため	35,000 円
災害ボランティアコーディネーター三島	大規模災害に向けての災害防災対策の強化事業	80,000 円
音訳サークル「アイ・あい」	視覚障がい者への情報提供	50,000 円
三島地区更生保護女性会	犯罪や非行のない明るい社会を目指す	17,000 円
三島人権擁護委員会	人権意識の普及・高揚を図るため	18,000 円
ボランティアグループ「太陽」	交通事故で悲惨な思いをする人を少しでも減らすため	64,000 円
花草会	認知症本人と家族、地域住民と共に作るハーブ園作り	80,000 円
ハーバルケアサポート TOKURA	認知症・居場所カフェの出張サポート	80,000 円
Rainbow Planets	地域交流(小児がん啓発)	80,000 円
要約筆記サークル「OHP みしま」	聞こえの個別相談	79,000 円
合計 12 団体		737,000 円

② 児童青少年健全育成団体事業費補助

グループ名	事業名	補助額
ボーイスカウト三島地区	児童青少年の健全育成	60,000 円
ガールスカウト三島地区連絡協議会	1 日スカウト体験	22,000 円
三島ジュニアリーダーズクラブわかば	わかば事前事後研修会事業	22,000 円
合計 3 団体		104,000 円

(10) 災害ボランティアの振興

「三島市地域防災計画」において、災害時には市と社会福祉協議会が連携して、災害時のボランティア受付、活動場所の斡旋及び配置調整等を行う災害ボランティアセンターを設置することになっています。

この災害ボランティアセンターの円滑な運営と的確な被災者支援が図れるよう災害ボランティアコーディネーター三島と年間11回の定例会を開催しました。また、共同募金助成金を活用し、三島市初となる災害ボランティア活動用資材倉庫を社会福祉法人信義福社会「あかなすの里」敷地内に整備し関係機関と覚書を締結したほか、三島市との災害時における協力体制に関する協定を締結しました。

① 災害ボランティア活動用資材に関する覚書

締結先	締結日
社会福祉法人信義福社会	令和4年10月23日(日)
災害ボランティアコーディネーター三島	



② 災害ボランティアセンター運営訓練

開催日	参加者	備考
令和4年 11月6日(日)	48名	災害ボランティア活動用資材整備に伴い、生活介護事業所「えがお」敷地内を会場に、近隣地区の自治会(新谷・平田・玉川・青木)に参加を呼びかけ訓練を実施



②災害ボランティアコーディネーター養成講座

開催日	参加者	備考
令和5年 2月12日（日）	17名	市内における災害ボランティア受入体制の整備を図るため、ボランティア希望者と被災者ニーズを結び付ける災害ボランティアコーディネーターを養成



4 福祉教育事業

(1) 福祉教育プログラムの実施

地域で生活している障がいのある方や福祉関係のボランティア活動者で構成する講師連絡会を設置し、学校等からの依頼に基づき、福祉教育プログラムを実施しました。

①講師連絡会構成員

選出区分	氏名	備考
視覚障がい者（盲導犬ユーザー）	杉山典行	
聴覚障がい者（手話講師）	中川みゆき	
身体障がい者（車椅子ユーザー）	清野一博	
当事者家族	清野佳代子	
ボランティア活動者（点字）	大杉次郎	すぎなの会
ボランティア活動者（要約筆記）	西井菜穂子	OHP みしま

②講師連絡会の開催

講師同士の情報共有を図り、福祉教育事業について複合的かつ効果的に事業を進めていくことを目的に講師連絡会を開催しました。

開催日	内容	参加者
令和5年 3月17日（金）	令和4年度 実施報告・状況 令和5年度 福祉教育メニューの検討・意見交換	6名

③福祉教育メニューの作成

福祉教育プログラムの内容を明確化し、より多くの学校等で活用して頂けるように福祉教育メニューを作成して市内小学校 14 校に配布・周知を行いました。

④福祉教育サポーターの育成

福祉教育プログラムの内容の充実化を図り、地域住民と共に子どもたちの学びの場を作り、共に福祉教育事業に取り組むことや地域住民に対しても福祉教育の啓発やボランティアの担い手の育成、ボランティア活動の間口を広げることを目的に福祉教育事業に地域住民と共に取り組むため、令和 3 年 6 月 29 日に「福祉教育サポーター養成講座」を開催しました。令和 4 年度は受講者のうち 7 名が福祉教育サポーターとして登録を更新し、実際に小学校等で体験学習の場で見守りや補助的な立場を担う活動をしました。

内 容	活 動 先	活動実績
白杖・アイマスク体験 高齢者疑似体験 車いす体験	沢地小学校、錦田小学校、 向山小学校、中郷小学校、 夢未来高等学院静岡校	11 回

⑤福祉教育プログラムの実施状況

実 施 日	内 容	対 象
令和 4 年 5 月 19 日 (木)	福祉と高齢者についての講義	沢地小学校 5 年生 50 名
令和 4 年 5 月 26 日 (木)	体験学習(高齢者疑似体験)	沢地小学校 5 年生 50 名
令和 4 年 6 月 21 日 (火)	体験学習(白杖・アイマスク)	錦田小学校 4 年生 90 名
令和 4 年 6 月 23 日 (木)	体験学習(白杖・アイマスク)	夢未来高等学院静岡校 1 年生 3 名
令和 4 年 6 月 27 日 (月)	体験学習(高齢者疑似体験)	錦田小学校 4 年生 90 名
令和 4 年 6 月 30 日 (木)	体験学習(白杖・アイマスク)	沢地小学校 5 年生 50 名
令和 4 年 7 月 4 日 (月)	福祉と高齢者についての講義	錦田小学校 4 年生 90 名
令和 4 年 7 月 8 日 (金)	体験学習(点字)	沢地小学校 5 年生 50 名

令和4年 7月21日(木)	当事者講師による講話 (聴覚障がいについて・手話について)	夢未来高等学院静岡校 1年生3名
令和4年 9月15日(木)	当事者講師による講話 (聴覚障がいについて・手話について)	沢地小学校 5年生50名
令和4年 10月13日(木)	当事者講師による講話 (車いす利用者の生活について)	沢地小学校 5年生50名
令和4年 11月7日(月)	体験学習(車いす)	向山小学校 4年生25名
令和4年 11月11日(金)	体験学習(点字/手話)	向山小学校 4年生38名
令和4年 11月14日(月)	体験学習(白杖・アイマスク/高齢者疑似体験)	向山小学校 4年生38名
令和4年 11月24日(木)	体験学習(車いす)	沢地小学校 5年生50名
令和5年 1月12日(木)	福祉と高齢者についての講義	中郷小学校 4年生60名
令和5年 1月19日(木)	体験学習(高齢者疑似体験)	中郷小学校 4年生60名
令和5年 1月26日(木)	体験学習(白杖・アイマスク/点字)	中郷小学校 4年生60名
令和5年 2月2日(木)	当事者講師による講話 (聴覚障がいについて・手話について)	中郷小学校 4年生60名
令和5年 2月9日(木)	当事者講師による講話 (車いす利用者の生活について) 体験学習(車いす)	中郷小学校 4年生60名
令和5年 3月7日(火)	福祉についての講義 当事者講師による講話 (聴覚障がいについて・手話について)	飛龍高等学校 三島スクール 2年生100名



⑥ふくし映画上映会

福祉的要素を含んだ作品（DVD）を上映し、より多くの住民に福祉への関心や理解を深めていただき、福祉啓発のために実施しました。

実施日	内 容	参加者
令和4年 7月28日（木）	「いのちへの讃歌」 しらんぷり／ぼくの青空／金色のクジラ 「みんなで跳んだ」	10名
令和4年 8月1日（月）	「5等になりたい」 「夢のつづき」	18名
令和4年 8月10日（水）	「ギブアンドゴー」 「地球が動いた日」	23名

（2）バリアフリー教室の開催

国土交通省静岡運輸支局、三島市、本会の共催で、三島市移動等円滑化構想の基本方針の一つである「こころのバリアフリー」を推進するため、標記教室を開催しました。

開催日	内容	対象
令和4年 9月8日（木）	障がい者講話やバリアフリー体験（バリアフリークイズ、車いす体験、低床バス乗降体験）	長伏小学校 4年生44名

5 広報啓発事業

（1）社協だより「はつらつ」の発行

社協事業の紹介をはじめ、各種福祉サービスや福祉情報を住民に周知するため、社協広報紙「はつらつ」を年5回発行しました。

発行No.	115号	116号	117号	118号	119号
発行日	令和4年 5月1日	令和4年 7月1日	令和4年 10月1日	令和4年 12月1日	令和5年 2月1日

（2）ホームページの運営

本会の事業活動、各種福祉サービス・情報等を広く紹介すると共に、社協だより「はつらつ」では伝えきれない情報等をよりタイムリーに発信し、市民の皆様に行き届くようホームページの運営に努めました。

（3）社会福祉大会の開催

社会福祉の発展に寄与された方々を表彰し、感謝の意を表すとともに、福祉意識

の高揚を図りました。

開催日	会場	内容
令和4年 11月16日(水)	三島市民生涯 学習センター	表彰式 三島市社会福祉協議会会長表彰 51名

(4) 児童福祉週間、老人の日・老人週間の啓発及び障がい者週間の啓発協力

児童・高齢者福祉の理念の普及・啓発の為、市内各所にポスターを掲示しました。また、三島市が実施する障がい者週間に合わせて、市内各所にのぼり旗を設置しました。

6 福祉総合相談事業

(1) 相談事業の実施状況

住民の暮らしの中でのあらゆる相談に応じるとともに、関係機関との連携や福祉サービスにつなげるなど、適切な援助や助言を行い課題解決に向けた取り組みを行うことを目的に本事業を実施しました。

区分	件数	区分	件数
生計	324件	財産	2件
年金	0件	事故	2件
職業・生業	2件	児童	0件
住宅	2件	教育・青少年	17件
家族	6件	障がい者	3件
結婚・離婚	2件	母子・父子	5件
ボランティア	36件	高齢者	2件
健康・衛生	0件	苦情	0件
医療	1件	日常生活自立支援事業	22件
精神保健	0件	成年後見制度	12件
人権・法律	1件	その他	25件
合計		464件	

7 権利擁護事業

(1) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき福祉サービスの

利用援助等を行いました。

①相談・援助実績

初回相談	相談援助	合 計
3 件	1,495 件	1,498 件

【主な相談援助内容】

- ・福祉サービスの利用等に関する情報提供、相談、利用手続き、支払い
- ・年金、福祉手当の受領に必要な手続き、預貯金の出し入れに関する援助
- ・大切な書類や印鑑等の保管ほか

②契約件数等の内訳

区分	審査	決定	却下	辞退	新規 契約	解約	契約 件数
認知症高齢者	4 件	3 件	0 件	1 件	3 件	2 件	12 件
知的障がい者	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	1 件	9 件
精神障がい者	1 件	1 件	0 件	0 件	1 件	0 件	6 件
その他	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	1 件
合 計	5 件	4 件	0 件	1 件	4 件	3 件	28 件

- ・解約理由は、施設入所 1 件、成年後見制度への移行 2 件
- ・契約件数は、令和 5 年 3 月 31 日現在

③生活支援員の配置

各利用者の契約内容や支援計画に基づいた支援が円滑にできるように、専門員のほかに生活支援員を 12 名配置し、支援を行いました。また生活支援員の資質向上と支援における悩み等に応じるため交流会を実施しました。

開 催 日	内 容
令和 5 年 3 月 8 日（水）	令和 4 年度実施報告・状況 個別ケースが抱える課題等についての協議及び意見交換ほか

(2) 法人後見事業

法人後見事業では、法人として成年後見人等を受任し、認知症、知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が十分でない方が不利益を被らないように、財産管理及び身上監護に関する契約などの法律行為全般を行うとともに、専門職で構成された成年後見運営委員会を設置し、本会の後見業務の指導、適切な後見業務を担保するための会議等を開催しました。

①法人後見受任状況

後見類型	新規	終了	受任件数
後見	1件	2件	2件
保佐	0件	1件	6件
補助	0件	0件	0件
後見監督人	2件	1件	2件
合計	3件	4件	10件

②成年後見運営委員会構成員

選出区分	氏名	所属	備考
法律関係者	原島年央	静岡県弁護士会	委員長
医療関係者	田内美津子	三島市医師会	副委員長
学識経験者	細谷孝一	三島市地域包括支援センター	
法律関係者	井上尚人	成年後見センター・サポート静岡支部	
福祉関係者	岩田正徳	静岡県社会福祉士会	
行政関係者	青木聡	三島市障がい福祉課	
その他	塩川健太	三島市障がいとくらしを支える協議会	

③成年後見運営委員会の開催状況

開催日	主な内容
令和4年6月29日(水)	新規受任ケースについて
令和5年3月8日(水)	新規受任ケースについて

④法人後見支援員の配置

市民後見人研修修了者へ必要な知識や技術など実務経験を積める場の提供と併せて、法人後見受任ケースの円滑な支援ができるように、法人後見支援員7名を配置し支援を行いました。

(3) 市民後見人育成事業

市民後見人を養成するため、下記の通り市民後見人養成研修を実施しました。

また、研修修了者へ法人後見支援員としての登録意向を確認し、希望者に対して面接を行うなど適性を測ったうえで、7名を法人後見支援員として決定したほか、現在登録のある法人後見支援員を対象にフォローアップ研修を行いました。

①研修の状況（集合研修及び体験実習の会場は三島市社会福祉会館）

研修	テーマ	科目
集合研修	オリエンテーション	オリエンテーション

令和4年11月16日(水) 10:00~15:00	市民後見概論	市民後見概論
	対人援助の基礎	コミュニケーション技術の取得 自己覚知、傾聴と共感 意思決定支援
在宅学習 ※講義動画の配信 令和4年11月16日(水) ~令和5年1月23日 (月)	成年後見制度の基礎	成年後見概論、職務の範囲、 概要、基本視点、法定後見、 任意後見
	成年後見制度の基礎	成年後見制度利用支援事業
	成年後見制度の基礎	日常生活自立支援事業
	対象者理解	高齢者・認知症の理解
	対象者理解	知的障がい者の理解
	対象者理解	精神障がい者の理解
	民法その他の法律の基礎	財産法の基礎
	民法その他の法律の基礎	家族法の基礎
	民法その他の法律の基礎	刑法の基礎 その他の基本法
	関係制度・法律	税務申告等
	関係制度・法律	医療保険制度、年金制度
	関係制度・法律	生活保護制度
	関係制度・法律	高齢者施策、介護保険制度他 高齢者虐待防止法
	関係制度・法律	障害者施策、障害福祉制度他 障害者虐待防止法
医療連携 前編 医療連携 後編	医療連携、診断書	
集合研修 令和5年1月23日(月) 10:00~16:00	家庭裁判所の役割	成年後見における家庭裁判所の役 割
	市民後見活動の実際	後見人の活動例、後見監督業務 中核機関の役割
	グループワーク	基礎研修のまとめ
在宅学習 ※講義動画の配信 令和5年1月23日(月) ~2月15日(水)	成年後見の実務①	申立手続き、財産目録、後見計画 収支予定
	成年後見の実務②	身上保護 コロナ禍の予防接種等
	成年後見の実務③	財産管理
	成年後見の実務④	報告書 後見報酬付与
	成年後見の実務⑤	後見事務終了時の手続き 死後事務
体験実習 令和4年12月~令和5 年2月の期間で2時間 程度	社協法人後見業務(身上保護の同行)	
集合研修 令和5年2月15日(水) 10:00~16:00	事例検討・まとめ グループワーク	事例報告と検討
	レポート作成	市民後見人像
	修了式	



① 令和4年度市民後見人養成研修受講者の状況

受講者	修了者	法人後見支援員登録
15名	12名	7名

② 市民後見人フォローアップ研修の開催

新型コロナウイルス感染症予防の観点より、集合型研修の実施が困難であったため、成年後見の実務動画を作成し、現在市民後見人を目指し法人後見支援員として活動する7名へ送付することで、フォローアップ研修としました。

(4) 三島市成年後見支援センター（中核機関）の運営

成年後見制度の利用の促進に関する法律（平成28年法律第29号）第14条第1項の規定に基づく中核的な機関として、同制度の利用の促進を図るため下記の業務を行いました。

① 広報機能

周りの人の気づきを向上させ、成年後見制度の利用が必要な人の早期発見につながるために、判断能力の低下に伴って発生する問題や成年後見制度のメリット等を周知しました。

実施項目	備考
センター紹介リーフレットの配布	
センター紹介動画の作成・配信	YouTubeにて配信
三島市の市民後見人の紹介	社協だより「はつらつ」に掲載 ※4名の市民後見人の活動紹介
三島市の親族後見人の紹介	社協だより「はつらつ」にて掲載 ※同居の親族の成年後見人としての活動紹介

会議・勉強会等の研修等の対応	弁護士・社会福祉士合同勉強会 『セルフネグレクト高齢者のネットワーク形成と意思決定支援』 ～成年後見支援センターのチームアプローチ～ 弁護士 8 名・社会福祉士 46 名
	厚労省主催 成年後見制度利用促進 第 158 回市町村セミナー 実践報告 全国市区町村自治体及び社協 対象者 614 名 ※実践報告内容は、厚生労働省の HP 掲載中。
	静岡県成年後見制度利用促進協議会 静岡県東部 職能団体及び各自治体・社協
	新潟県成年後見制度中核機関職員研修会 実践報告『中核機関設置の運営の実際 ～有機的な権利擁護支援体制の構築に向けた取組～』における報告 新潟県市町村自治体及び社協 対象者 93 名
	静岡県主催 静岡県法人後見・市民後見担当者会議 県内 35 市町 法人後見及び市民後見人受任状況
	厚労省主催 成年後見制度利用促進体制整備研修 『権利擁護支援チームの形成支援機能』 全国市区町村自治体及び社協 対象者 570 名
	三島市後見人等支援研修 対象者 15 名 (市民後見人、親族後見人、法人後見支援員)

②相談機能

相談しやすい環境を整備するために、センター職員が対応する一般相談窓口を常設するとともに、専門職団体に協力を依頼し、専門職による専門相談窓口を定期的で開催しました。※専門相談窓口は予約制（1 件 30 分まで）

ア．一般相談窓口／月曜日～金曜日 8：30～17：15

新規相談件数	継続相談件数
95 件	715 件

イ．専門相談窓口／毎月第 1 水曜日 13：00～16：00（弁護士会対応）

毎月第 3 水曜日 13：30～16：30（リーガルサポート対応）

弁護士会対応件数	リーガルサポート対応件数
14 件	6 件

③成年後見制度利用促進機能

弁護士、司法書士、社会福祉士等で組織するコーディネート委員会を設置し、本人が成年後見制度を利用した時に、メリットを感じられるように状況に合わせた支援方針や成年後見人等候補者を検討・マッチングを行い、本人にとっても後見人等にとっても安心して制度が利用できるように支援しました。また、本人の状況に応

じて社会資源等の制度以外の利用についても提案し、地域で暮らせる仕組みづくりを行うほか、関係団体との連携と情報共有を推進するため各種会議等を開催しました。

ア. コーディネート委員

選出区分	氏 名	備 考
弁護士	揚野江利子	委員長
司法書士	鈴木信宏	副委員長
社会福祉士	番場俊文	
精神保健福祉士	澤野文彦	
行政書士	武田典子	
行政市長申立担当者	青木聡	
行政市長申立担当者	中村純	

イ. コーディネート委員会の開催状況

日 時	ケース検討の内訳	
	継続ケース	新規ケース
令和4年4月8日(金)	13件	3件
令和4年5月13日(金)	5件	2件
令和4年6月10日(金)	24件	1件
令和4年7月8日(金)	13件	2件
令和4年8月12日(金)	17件	3件
令和4年9月9日(金)	8件	0件
令和4年10月14日(金)	8件	2件
令和4年11月11日(金)	6件	4件
令和4年12月9日(金)	11件	2件
令和5年1月13日(金)	11件	1件
令和5年2月10日(金)	6件	4件
令和5年3月10日(金)	13件	4件



ウ. 関係機関・団体との意見交換会等開催状況

日時	内容	備考
令和4年9月9日(金)	・各地区地域包括センターの対応について ・1次相談窓口及び2次相談窓口の位置づけについて	三島市内地域包括支援センター及び介護支援専門員連絡協議会
令和4年12月15日(木)	成年後見事業 (中核機関、法人後見事業、市民後見育成事業等)	沼津市成年後見支援センター (令和3年10月1日度中核機関設置)
令和4年5月17日(火) 令和4年6月24日(金) 令和4年7月27日(水) 令和4年9月5日(月) 令和4年10月24日(月) 令和4年11月7日(月) 令和5年2月13日(月)	3市1町市民後見人養成研修の打ち合わせ及び中核機関の意見交換会	<u>伊豆の国市</u> 法人後見受任件数(延べ件数) 8件 <u>伊豆市</u> 法人後見受任件数(延べ件数) 6件 <u>函南町</u> 法人後見受任件数(延べ件数) 8件 <u>三島市</u> 法人後見受任件数(延べ件数) 22件 ※令和4年12月末時点

エ. 三島市成年後見制度利用促進連携協議会開催状況

開催日	内容	備考
令和5年3月28日(火)	センターの令和4年度事業報告、令和5年度事業計画、関係機関との情報交換	専門職等で構成される委員17名、静岡家庭裁判所沼津支部主任書記官1名、コーディネーター委員2名出席

④後見人支援機能

「後見人を1人ぼっちにしない」を目標とし、後見人等が一人で悩みを抱えないようにするために、チーム支援を行っていくとともに、気軽に相談できる環境や仲間づくりを推進しました。

実施項目	備考

三島市後見人等支援研修	市民後見人、親族後見人、法人後見支援研修等を対象に研修実施（受講者 15 名）
親族後見人支援	7 件（初回・定期・終了報告の記載の仕方等）
成年後見人支援 チーム支援	37 件（ケース会議開催、ケース会議参加、相談）
任意後見人支援	14 件（ケース会議開催、ケース会議参加、相談）
市民後見人交流会	4 名（令和 4 年度 3 名誕生）3 ヶ月に 1 度定期報告
地域ケア個別会議支援	6 件（会議参加）
地域ケア推進会議	1 件（会議参加）

8 セーフティーネット事業

（1）生活福祉資金貸付

低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進、並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるように支援しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方々に対する貸付事業として、緊急小口資金特例貸付、総合支援資金特例貸付を実施しました。

※貸付の可否や債券管理等は実施主体である静岡県社会福祉協議会となります。

①相談活動状況

項目	件数
貸付相談	396 件
償還相談	92 件
民生委員との連絡調整	9 件
連携（連絡調整）した機関（生活支援センター、福祉事務所ほか）	149 件
合計	646 件

②新規貸付件数

項目	申請件数	うち決定件数	貸付決定額
福祉資金	7 件	4 件	504,000 円
教育支援資金	2 件	2 件	1,635,000 円
不動産担保型生活資金	0 件	0 件	0 円

緊急小口資金	6件	2件	200,000円
総合支援資金	0件	0件	0円
臨時特例つなぎ資金	1件	1件	33,000円
緊急小口資金特例貸付	74件	59件	10,800,000円
総合支援資金特例貸付	59件	30件	14,950,000円
合計	149件	98件	28,122,000円

(2) 生活一時扶助金・食糧支援

解雇や病気等の理由により、初回満額給料日や年金支給日等までに生計の維持が困難な方への支援として、年1回10,000円を限度とする生活一時扶助金の交付、フードバンクふじのくにより取り寄せた食糧や住民から戴いた食糧の提供を実施しました。

生活一時扶助金	食糧支援
29件（交付総額290,000円）	134件

(3) 歳末見舞金の贈呈

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする世帯が地域で安心して暮らすことができるよう、市民から寄せられた歳末たすけあい募金を活用し見舞金の贈呈を通して支援しました。※対象は、令和4年10月1日現在、三島市の住民基本台帳に登録されている住民税非課税世帯で、担当地区の民生委員・児童委員の支援（継続的な関り等）を必要としている下記のいずれかに該当する世帯。（生活保護は除く）

世帯区分	件数	見舞金額	備考
要介護者のいる世帯	14件	228,000円	見舞金額は単身世帯9,000円。世帯員が1人増えるごと6,000円を加算し算出。
ひとり親世帯	21件	447,000円	
障がい児・者のいる世帯	31件	423,000円	
ひとり暮らし高齢者世帯	61件	549,000円	
合計	127件	1,647,000円	

9 指定事業所の運営

(1) 介護保険事業所及び障がい福祉サービス事業所の運営

利用者本位を基本とし、サービスの質の向上に努めながら住み慣れた地域で自分らしく生活できるように、介護保険法に基づく「居宅介護支援」・「訪問介護」のサービスと介護予防・日常生活支援総合事業の「訪問型(独自/定率)」・「訪問型サービ

スA」のサービスを、また、障がい者総合支援法に基づく「居宅介護」・「重度訪問介護」のサービスを提供しました。

①従事者数内訳（令和5年3月31日現在）

職 種	常 勤	非常勤	登 録	計
介護支援専門員	2名	2名	0名	4名
ホームヘルパー	3名	6名	0名	9名
合 計	5名	8名	0名	13名

②介護保険事業等収入内訳

サービス名	件数	保険給付費	利用者負担額	計
訪問介護	343件	18,910,848円	2,177,642円	21,088,490円
訪問介護公費分	(16件)		84,597円	84,597円
訪問型(独自)	229件	3,802,317円	424,976円	4,227,293円
訪問型(独自)公費分	(2件)		5,454円	5,454円
居宅介護支援	951件	14,615,124円	0円	14,615,124円
予防計画作成	391件	1,684,639円	0円	1,684,639円
合計	1,914件	39,012,928円	2,692,669円	41,705,597円

③障がい福祉サービス事業収入内訳

サービス名	件数	保険給付費	利用者負担額	計
居宅介護	212件	7,489,307円	64,518円	7,553,825円
重度訪問介護	12件	1,047,864円	0円	1,047,864円
合計	224件	8,537,171円	64,518円	8,601,689円

(2) 障がい者通所施設の運営

利用者に様々な生きがいを提供できるように努めるとともに、可能性を広げる支援の充実を目指し、生活介護事業所2箇所及び就労継続支援B型事業所1箇所を運営しました。

①運営施設の概要

ア. 指定生活介護事業所えがお(所在地:新谷190-2 定員:40名)

作業内容	自主作業	クッキー・パウンドケーキ作り、ジャム作り、アルミ缶・古紙リサイクル回収、縫製品、紙すき、ビーズ製品ほか
生活指導内容	日常生活支援	基本生活習慣(食事・排泄・歯磨き・着脱等)の支援、自立に向けた掃除・洗濯・買い物等の支援、創作活動、調理実習、健康支援、身体機能の維持・向上のための支援ほか
	その他	クリスマス会、防災訓練、音楽療法、運動療法、地域清掃ほか

イ. 指定就労継続支援B型事業所さわじ作業所(所在地:沢地 246-11 定員:20名)

作業内容	自主作業	木工製品、防災製品(黄色いハンカチ)、アルミ缶・古紙リサイクル回収、レーザー加工製品、缶バッジ、共同店舗運営、名入れ作業、UVプリント加工
	下請作業	清掃作業(体育館・保健センター等)、バンド巻、軽作業、封入作業、近隣観光施設用製品作り
生活指導内容	就労訓練	基本生活習慣(食事・排泄・歯磨き・着脱等)の支援、作業に必要な技能・接遇などの訓練、買い物訓練、余暇支援、健康支援ほか
	その他	機能訓練、ボランティア交流会、防災訓練、社会見学、地域交流祭り、調理実習、地域の小学校・幼稚園との交流

ウ. 指定生活介護事業所おんすいち(所在地:富田町 3-19 定員:20名)

作業内容	自主作業	ビーズ製品(きらきらバンド・ブレスレット・携帯ストラップ)、野菜作り、縫製品、ステンシル製品、アルミ缶・古紙リサイクル回収、クッキー
生活指導内容	日常生活支援	基本生活習慣(食事・排泄・歯磨き・着脱等)の支援、調理実習、創作活動、健康支援、身体能力維持・向上(スポーツ・プール・歩行訓練等)ほか
	その他	防災訓練、工場見学、避難所体験、買物訓練、希望外出、手話、音楽療法、詩吟、地域交流ほか

②年代別利用者数（令和5年3月31日現在）

区分	えがお		さわじ作業所		おんすいち		合計
	男	女	男	女	男	女	
20歳未満	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
20～29歳	11名	7名	3名	1名	1名	2名	25名
30～39歳	4名	5名	3名	4名	7名	7名	30名
40～49歳	4名	5名	4名	4名	3名	0名	20名
50～59歳	2名	2名	2名	2名	1名	0名	9名
60歳以上	1名	0名	2名	0名	0名	0名	3名
合計	22名	19名	14名	11名	12名	9名	87名
	41名		25名		21名		

③障がい別利用者数（令和5年3月31日現在）

区分	えがお		さわじ作業所		おんすいち		合計
	男	女	男	女	男	女	
知的障がい	7名	11名	12名	11名	11名	7名	59名
身体障がい	1名	0名	1名	0名	0名	0名	2名
重複障がい	14名	8名	1名	0名	1名	2名	26名
合計	22名	19名	14名	11名	12名	9名	87名

④開所日数及び利用者数

区分	えがお		さわじ作業所		おんすいち	
	開所日数	利用者数	開所日数	利用者数	開所日数	利用者数
4月	18日	41名	18日	25名	18日	21名
5月	19日	41名	19日	25名	19日	21名
6月	22日	41名	22日	25名	22日	21名
7月	20日	41名	20日	25名	20日	21名
8月	21日	41名	21日	25名	21日	21名
9月	20日	41名	20日	25名	20日	21名
10月	20日	41名	20日	25名	20日	21名
11月	20日	41名	19日	25名	20日	21名
12月	19日	41名	19日	25名	19日	21名
1月	19日	41名	19日	25名	19日	21名

2月	18日	41名	19日	25名	19日	21名
3月	20日	41名	20日	25名	20日	21名
合計	236日	492名	236日	300名	237日	252名

⑤利用者工賃概要

区分	当年度		前年度	
	総額	1人当たり/月	総額	1人当たり/月
えがお	1,583,371円	3,218円	1,414,744円	2,875円
さわじ作業所	4,484,562円	14,948円	3,714,035円	12,895円
おんすいち	536,345円	2,128円	629,410円	2,384円

⑥障がい福祉サービス事業収入内訳

施設名	サービス名	件数	保険給付費
えがお	生活介護(通所)	472件	80,933,287円
さわじ作業所	就労継続支援B型(通所)	299件	41,386,664円
おんすいち	生活介護(通所)	252件	38,856,504円
合計		1,023件	161,176,455円

10 受託施設の運営

(1) 社会福社会館の運営（指定管理）

三島市社会福社会館は、社会福祉事業の振興と市民一人ひとりが福祉活動への関心を深めその育成発展を図るために昭和49年7月に建設されました。この管理運営を三島市から指定管理者として受託し、福祉活動の場を提供し市民の活動拠点として有効に活用して頂けるよう努めています。

今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染予防のため、貸室の換気や手指消毒の徹底をお願いするなど、感染防止に努めました。

また、令和4年10月からは三島市公共施設予約案内システムが導入され、インターネットを通じて貸室の予約状況をご覧頂けるようになりました。システムの導入に伴い、窓口での対応はもとより、操作・登録などについてわかりやすい案内文等を作成するなどし、システムを円滑にご利用頂けるよう努めました。

モニタリング（アンケート調査）や窓口対応等で皆さまから頂きましたご意見や感想を反映し、より市民に親しまれる、使い勝手の良い施設となるよう、引き続き努めてまいります。

① 開館日数及び年間利用の状況

・開館日数 344 日 1 日平均 55 人

利用種別	利用回数	利用人数
民生委員関係	104 回	1,558 人
身体障がい者関係	436 回	5,291 人
老人福祉関係	78 回	1,396 人
児童福祉関係	4 回	71 人
更生保護関係	106 回	1,145 人
社会福祉協議会関係	652 回	4,248 人
その他	199 回	5,246 人
合 計	1,579 回	18,955 人

(2) 老人福祉センターの運営（指定管理）

三島市老人福祉センター（愛称：いきいきシニア・ふれあいセンター）は、市内のお年寄りの皆さんに対して、各種の相談に応じ、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションの場を提供するため、昭和 59 年 4 月に設置されました。

平成 18 年度以降、三島市から指定管理者として受託し、施設の適切な管理と運営に努めています。

シニアクラブとの連携・協力をはじめ、各種講座・教室等を開催するなど、利用者が健康で明るく、生きがいのある生活を送って頂けるよう、利用の促進を図っています。

新型コロナウイルス感染防止対策を優先し、一部業務の縮小を行い舞台利用等に一定の利用ルールを設けるなど、感染予防重視の施設運営に努めました。

① 開館日数及び年間利用の状況

・開館日数 292 日 1 日平均 154 人

団体利用者	個人利用者	合計
2,963 人	41,995 人	44,958 人

② 講座・活動等

種 類	内 容	実施回数	受講・参加者数
健康・教養講座	折り紙教室	4 回	165 人
	薬の出前講座(県)	4 回	140 人
	マジック教室	4 回	153 人
	気持ちいいヨガ	3 回	114 人
	ごみの出前講座	4 回	208 人

	大正琴	3回	121人
	口の中の健康	2回	78人
	骨の健康・認知症・介護予防	4回	157人
	三島から見る富士山	4回	295人
生活安全講座	防犯講習	2回	82人
	交通安全	4回	191人
	消費生活	1回	38人
脳いきいきクラブ	習字同好会	24回	278人
	グラウンドゴルフ	124回	623人
	脳トレ・サークル	47回	383人
	ウクレレ	43回	166人
	フラダンス	28回	223人
	囲碁	4回	8人
	将棋	148回	296人
相談事業	健康サロン	57回	584人
	健康相談	随時	735人
合 計		514回	5,038人

1 1 その他の事業

(1) 三島市共同募金委員会としての共同募金業務

平成 15 年に社会福祉法人静岡県共同募金会と三島市社会福祉協議会の間に取り交わされた事務申し立てに従い、三島市共同募金委員会の事務を担い、各種募金活動や運営委員会の開催などを実施しました。

【令和 4 年度実績額】

赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
6,600,446 円	2,449,006 円

(2) 助成事業

下記団体が実施する事業を助成しました。

団体名称	事業名	助成額
三島市小中学校連 合修学旅行団体	準要保護世帯児童への修学旅行費用の助成 (小学校 6 年生 48 件 5,000 円/件)	240,000 円
三島市中学校修学 旅行団体	準要保護世帯生徒への修学旅行費用の助成 (中学校 3 年生 63 件 7,000 円/件)	441,000 円

三島市民生委員児童委員協議会	福祉活動に関する事業	412,000 円
	広報紙「ぬくもり」の発行	100,000 円
三島市民間社会福祉施設協議会	民間社会福祉施設職員の質の向上	50,440 円
三島市遺族会	戦没者等の慰霊・参拝事業	80,000 円
合計 5 団体		1,323,440 円

(3) 福祉車両・車椅子・介護補聴器の貸出事業

在宅の外出困難な高齢者及び障がい者等の生活圏拡大と社会参加を支援し、日常生活の向上を図ることを目的に実施しました。

福祉車両貸出	車椅子貸出
67 件	243 件



(4) 生きがい教室の運営

介護予防事業の一環として、市の委託を受けて市立西小学校、東小学校、南小学校の余裕教室 3 箇所に「生きがい教室」を開設。家庭にとじこもりがちな高齢者に交流の場を提供し、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることを予防するため、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底する中で 1 日の利用人員を午前・午後各 10 名と制限しサービスを提供しました。

①利用状況

	西小 生きがい教室	東小 生きがい教室	南小 生きがい教室	合計
開所日数	228 日	227 日	228 日	683 日
延べ利用者数	3,463 人	3,323 人	3,544 人	10,330 人
平均利用者数	15.2 人/日	14.6 人/日	15.5 人/日	15.1 人/日

②介護予防普及啓発事業

新型コロナウイルス感染防止対策をとる中で、下記のとおり介護予防普及啓発事業を実施しました。

介護予防教室の実施状況

実施教室	実施日	実施内容	講師
東小学校生きがい教室	令和4年5月27日	音楽療法	竹内恵美子
南小学校生きがい教室	令和4年8月2日 令和4年8月19日	音楽療法 〃	竹内恵美子 〃
西小学校生きがい教室	令和5年3月29日	音楽療法	竹内恵美子

(5) 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業

市営加茂住宅A棟で実施している「高齢者世話付住宅(令和5年3月31日現在17世帯21名居住)」に対して3名の生活援助員を配置し、2交代制のシフト勤務で居住者に対する生活指導及び相談を充実するとともに、安否確認、一時的な家事援助などの生活支援を実施しました。